

TRIAS II

■ 64bit ネイティブ対応

64bit ネイティブ対応したことにより PC に搭載したメモリをフルに活用することができ、多チャンネル・ハイスピードカメラ等の構成でも長時間計測が可能に。

■ 300fps GigE カメラ対応

AD と同期可能な GigE カメラが、最高 300fps 対応に (最大 8 台使用可能)。

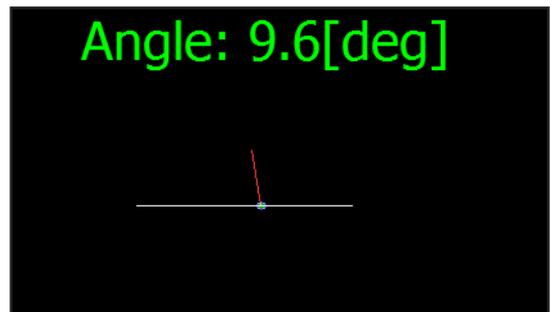
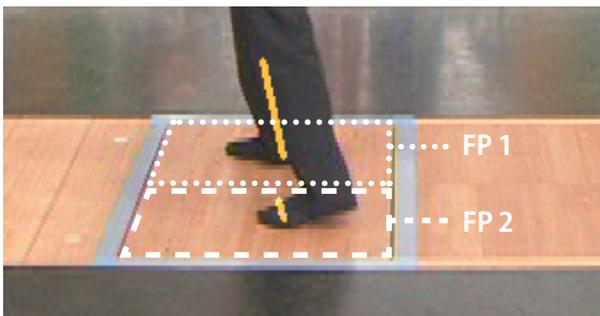
■ mp4, mov 形式の動画に対応

avi, mpg, wmv 形式に加え、mp4, mov 形式の動画にも対応。

■ 計測中の床反力ベクトルに関する改良

計測中にベクトル図をフォースプレート 1 台につき 1 本ずつ表示。

2D 床反力表示の時は、計測中でも角度をリアルタイムで表示可能に (いずれも残像表示 OFF 時のみ)。

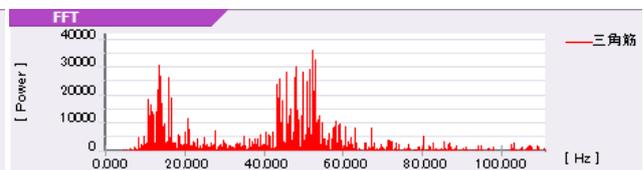
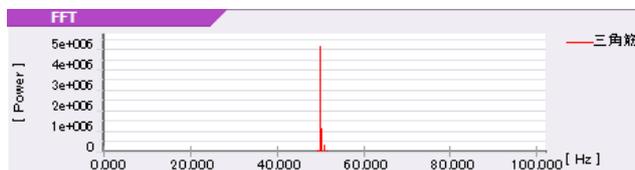


■ 「ノッチフィルタ機能」追加

電源ノイズ [50Hz または 60Hz] や、指定の周波数成分のみをカットするフィルタ機能を追加。

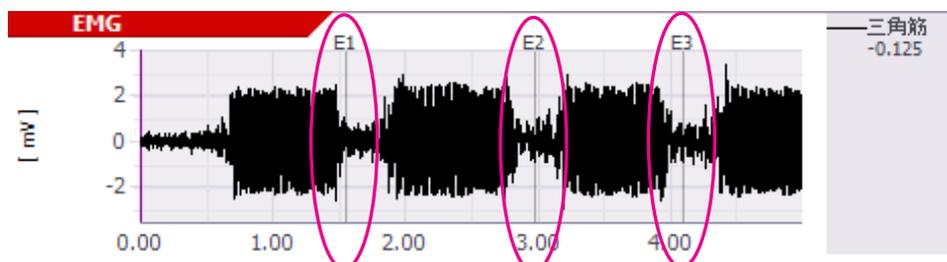
《ノッチフィルタ前》

《ノッチフィルタ後》



■ 計測中にキーボードでイベント入力

AD を使用した計測中、キーボードの [E] ボタン押下でイベントマークを作成。



■ EMG 解析改良

- % MVC 変換基準値取得

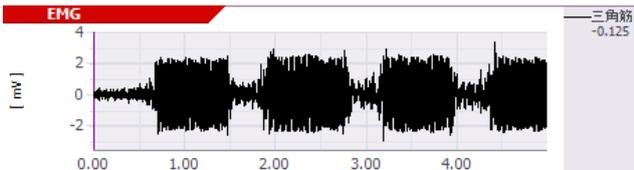
EMG 波形で、選択範囲内のデータ平均値を基準値として設定可能に。範囲指定ではなく、1つの値を基準値として設定することも可能。

- 積分波形の表示

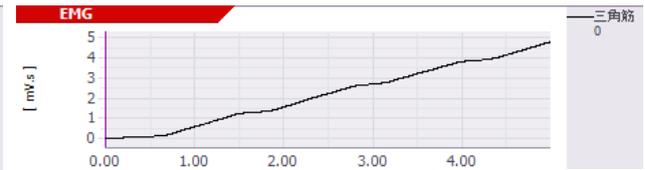
積分波形の表示が可能に。指定範囲のみの積分表示も可能。

一定時間ごと、または一定値(レベル)に達したタイミングでの積分値リセット機能。

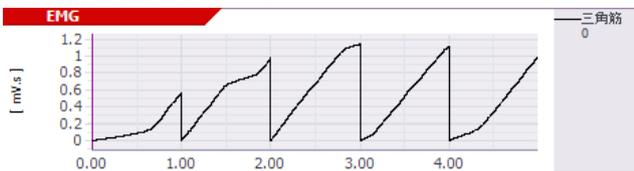
《元の EMG 波形》



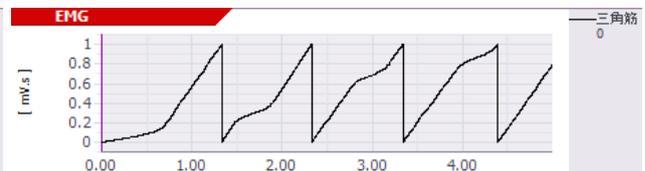
《EMG 積分波形》



《EMG 積分波形：時間リセット》



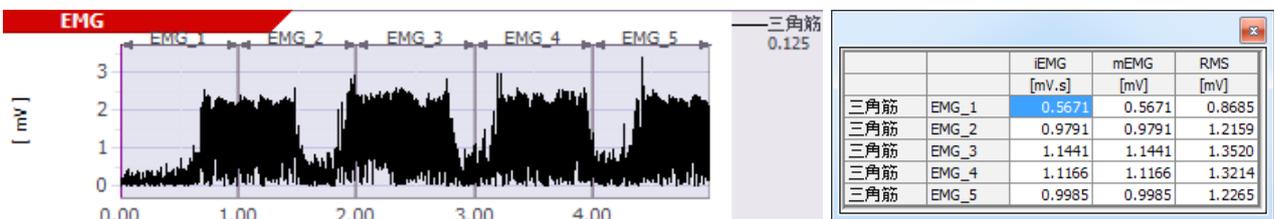
《EMG 積分波形：レベルリセット》



- 解析範囲の設定

連続した解析範囲の自動作成機能により、同じ時間間隔で連続した区間の解析が可能に。

《EMG 波形 解析範囲設定後》



■ 連続計測機能

繰り返し計測を行う実験のために、計測 → 保存 → 計測 の流れを自動化 (AD 変換ユニット使用時のみ)。